

スポーツ観光事業の取り組みについて

平尾 好孝

上富田町教育委員会 生涯学習課 (〒649-2105和歌山県西牟婁郡上富田町朝来758-1)

論文要旨:

スポーツによるまちづくりに取り組んでいる上富田町。平成8年に近畿自動車道紀勢線湯浅御坊道路が全線供用されて以来、京阪神からの移動時間が短縮されたことにより、年間を通して多くの利用者が上富田町を訪れるようになった。今年度には、すさみ南ICまで南進し、北信越や京阪神からの移動時間も更に短縮され、益々便利になる。また、当町を起点に、和歌山市や田辺市、串本町間の移動距離も短くなり、同じ時期に合宿を誘致することにより、今まで和歌山県のウィークポイントであったトレーニングマッチが可能になる。今後、近くなった和歌山をアピールし、様々なスポーツ観光事業の展開が可能となる。

キーワード スポーツ観光、地域活性化、地域スポーツ振興

1. はじめに

(1) 概要

上富田町は和歌山県の中心部に位置し、温暖な気候や京阪神からも2時間で移動可能な交通の便を活かし、年間を通してスポーツ合宿の誘致に取り組んでいる。

人口は、15,300人。農業が盛んで隣接する田辺市のベッドタウンとして和歌山県内では数少ない人口が増加している町である。上富田スポーツセンターは平成7年に、和歌山県紀南地方のスポーツ活動の拠点施設として、開設した。

(多目的グラウンド) 人工芝×1面



(球技場) 天然芝×2面



(屋内イベント広場) 人工芝×1面



2. 上富田町のスポーツ合宿の誘致について

(1) 経過

平成7年…野球場1面、多目的グラウンド(クレーン)1面、テニスコート4面で開設

平成11年…屋内イベント広場建設

平成13年…球技場(天然芝)建設

平成19年…屋内イベント広場の人工芝化
多目的グラウンド一部天然芝化

平成22年…多目的グラウンド一部人工芝生化

※プロ野球ウエスタンリーグやJリーグの受入れをする中で、各チーム等の要望に応じ、年々改修を実施。

(2) スポーツセンター利用者数について

図1 単位：人

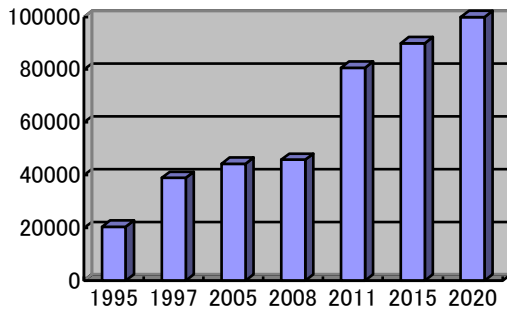


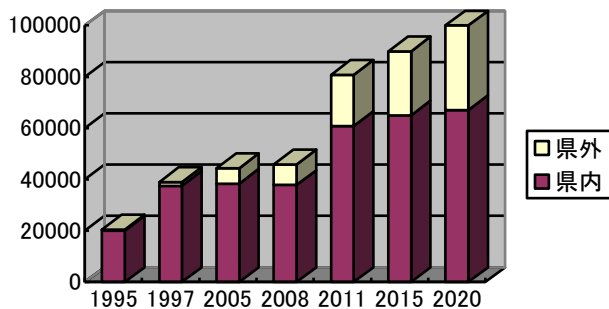
図1にもあるように、施設の充実に伴い、利用者数が増加しているが、興味深いのは、1996年の御坊開通の翌年、2003年のみなべ開通の2年後、2007年の田辺開通の翌年にそれぞれ増加の傾向が見られる。

京阪神からの移動時間の短縮により、紀南地方がより身近な場所となったと考えられる。

(3) 利用者数の県内、県外の内訳と高速道路の南進との関連性について

(2)のデータを更に県内と県外の利用者に分けみると、県外利用者と高速道路の南進との関係がより明確となる。

図2 単位：人



| →1996 御坊開通
 | →2003 みなべ開通
 | →2007 田辺開通
 | →2015 上富田開通

1995年には全体の約3%にすぎないが、2011年には25%、2020年には約3割の県外利用者を見込んでいる。

また、和歌山市方面からも約1時間で上富田まで来ることから、県サッカー協会の各カテゴリーのリーグ戦や公式戦でも多く利用されるようになった。

〔過去のキャンプチーム〕

- 柏レイソル 2007. 7
- セレッソ大阪 2008. 8
- なでしこジャパン合宿 2012. 2



- ツエーゲン金沢冬季合宿 2015. 2



- SP佐川フットボールクラブ 2015. 2
- 近鉄ライナーズ(ラグビートップリーグ) 2014. 11
- NTTドコモレッドハリケーンズ(〃) 2015. 5

3. 上富田町スポーツ観光推進協議会設立

について

平成25年7月設立・・・

行政、観光協会、商工会等が一体となってスポーツ観光に取り組むための組織を設立

(1) 宿泊部会

行政と連携しての誘致活動やホテル内での柔軟な対応（ミーティングルームやトレーニングルームの確保）。スポーツ選手に特化した食事の提供（栄養バランスやボリュームへの拘り）

(2) 弁当部会

スポーツ選手に特化したバランスのとれた弁当の開発。

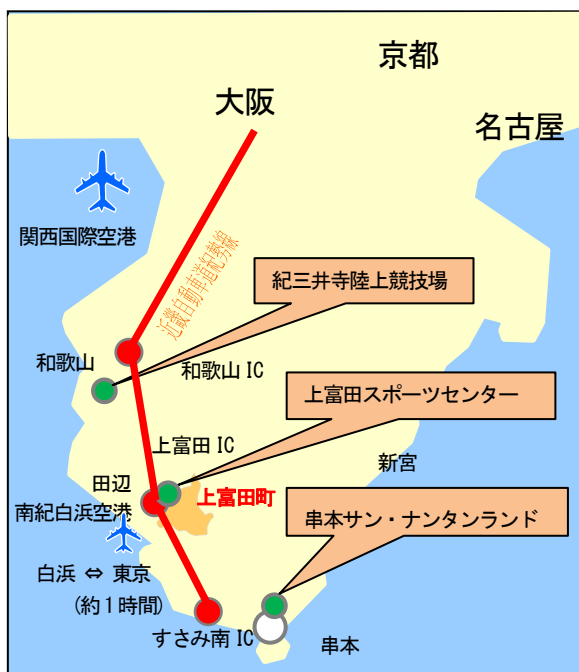


上富田スポーツセンターの利用者が増加し、それに伴い、弁当のニーズが増えた。町内の弁当業者が、栄養士や大学の専門家の監修のもと、栄養素（BCAAやバランス）に拘った「上富田スポーツセンター弁当 通称：スポ弁」を開発する。

平成26年度は8,000食、平成27年度は20,000食を見込んでいる。



3. 広域的な取り組みについて



(1) 和歌山の位置図

あまり知られていないが、和歌山県は本州で一番南に位置し、緯度は宮崎県とほぼ同じである。

上富田町の2月の平均気温は7.8℃。京阪神方面からでは貸切バスの移動費が約7,600円/人となりリーズナブルである。

(2) 戦略

JチームやJFL、ラグビーのトップリーグのチームも経営的には決して豊かとはいえず、今後、京阪神や中部地方、北信越のチームへターゲットを絞り、誘致活動をしていく。

また、この9月にすさみ南ICまで南進することにより、上富田一串本間が約50分、紀三井寺ー上富田間も約60分と短時間での移動が可能になる。

田辺市にもサッカー場があり、来季の冬季合宿では、同じ時期に4会場での合宿誘致を行い、相互にトレーニングマッチを行うことにより、充実した合宿を提供することが出来る。和歌山県の中心にある上富田町でのカップ戦も現在計画中である。

4. 閑散期対策

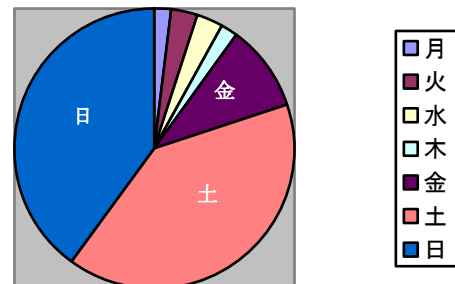
曜日ごとの利用状況を見ると、土日祝祭日が年間を通してほぼ100%に近い利用率がある一方、長期休暇を除く平日の昼間は20%にも満たない。（別表参照）

平日のメリット（宿泊者や高速道路の通行車両も少なく、時間的、精神的に大変お得である。）を活かし、グラウンドゴルフやゲートボールなどにターゲットを絞り、誘致活動をしていく必要がある。

〔別表〕

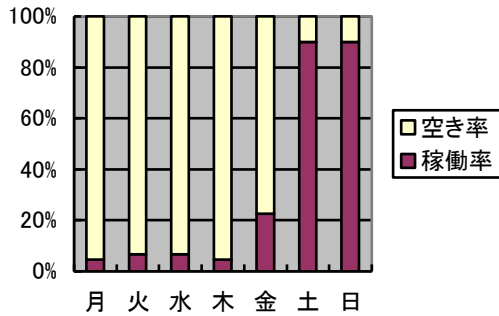
○平成26年度の曜日別利用割合

（8：00ー17：00）



○平成26年度の曜日別稼働率

(8:00-17:00)



5. ワンストップ窓口制に

一昨年から体育施設を民間管理にして宿泊と弁当の斡旋をしているが、現在、体育施設、宿泊施設、弁当等の予約がバラバラである。利用者から見れば、一回の電話で済ませたいものである。全国の合宿地では一回の電話ですべての予約が出来るところが多くある。今後は、体育施設の予約場所で宿泊や弁当の予約、居酒屋やお土産店の情報等も提供出来るシステムを構築する必要がある。

6. 地域を挙げての誘致活動

京阪神からの移動時間が短縮されたことにより、日帰りが増えるのではという意見もあるが、決してそうではない。今まで以上の観光客が紀南地方に訪れるのだから、それをチャンスと捉えるべきであろう。大切なのは宿泊施設の営業努力と魅力あるおもてなしに尽きる。あとは、合宿プラス地域の観光名所に立ち寄っていただけるプランを提供することが必要である。

今後もグラウンドや付帯施設の充実、宿泊施設、弁当業者等が連携をとり、地域全体で誘致活動やおもてなしをする必要がある。将来的には、宮崎や鹿児島に負けないようなキャンプ地を目指したい。

7. おわりに

上富田町は観光資源も乏しく、交通の便は良いが通過する町という印象があった。何もないのであれば、何か人が集まる仕掛けを作ろうと取り組んだのがスポーツ観光の始まりである。毎年、2月の第1週に開催している紀州口熊野マラソンもその一つである。

参加者は6,000名を超え、うち県外からの参加者が過半数となり、一大スポーツ観光イベントとなっている。大切なのは、いろんな業種の人たちをどんな形でいいのでイベントに巻き込むことであり、巻き込むこと

で人の繋がりが出来、それが大きな財産となりパワーとなる。



まずは、7月に白浜町まで開通する高速道路を一つの起爆剤にして、京阪神から身近になった上富田町をアピールしていきたい。

また、9月に開催される「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」ではサッカー競技、ラグビーフットボール競技、軟式野球競技、そしてフライングディスク競技が上富田町で開催される。

全国から多くの選手や観客が上富田町を訪れる。上富田町の良さをPRする絶好の機会ととらえ、町民一丸となり、おもてなしに努めたい。



2015 紀の国 わかやま 国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆